

WGにおけるガイドライン作成方針及びWG構成員名簿

ガイドライン作成方針

【検討内容】

高齢者における薬物療法に関する現状分析
 高齢者の多剤服用に関する適正使用ガイドラインの作成

【二段階のガイドライン案作成について】

新たに実施が必要な調査分析については、時間と費用がかかる一方で、関連学会のガイドライン等で既に一定のコンセンサスが得られたものがあることも考慮し、以下のような**二段階の作成**とする。

- 1 年度目（H29年度）：包括的なガイドライン
- 2 年度目（H30年度）：専門領域別もしくは領域横断的な病院機能別のガイドライン

【進め方】

ガイドラインのあり方について各構成員の意見交換
 意見の取りまとめ
 骨子案の作成、新たに実施が必要な調査等の洗い出し*
 ・主査の下で実施（構成員、関係学会等に随時ご協力をいただく）
 骨子案に対する議論、ガイドライン案の作成
 ガイドライン案の親検討会への報告

*：2段階目は調査分析の実施

二段階のガイドライン作成
 についてそれぞれ実施

（スケジュール）

Year	H29				H30					H31
Month	9	10	11	12	1	2	3	4・・・	・・・3	
親検討会		10/30 第4回		12/22 第5回 中間報告			3/9 第6回 包括ガイドライン(案)報告	・・・必要に応じ開催・・・	最終ガイドラインとりまとめ	
WG	9/1 第1回	・包括ガイドライン骨子案の作成 ・新たに実施が必要な調査等の洗い出し			12/13 第2回	・親検討会の意見を踏まえ、ガイドライン案の作成		2/21 第3回	・・・必要に応じ開催・・・ 詳細ガイドライン(案)報告	
	・各種調査の実施 ・調査結果等を踏まえ、詳細ガイドライン案の作成									
	必要に応じWGを随時開催									

「高齢者医薬品適正使用ガイドライン作成ワーキンググループ」構成員

平成 29 年 9 月時点

氏 名	所 属
秋下 雅弘	一般社団法人 日本老年医学会 副理事長 (東京大学大学院 医学系研究科 加齢医学講座 教授)
池端 幸彦	一般社団法人 日本慢性期医療協会 副会長
大木 一正	公益社団法人 東京都薬剤師会 副会長 (有限会社 クリーン薬局 代表取締役)
大野 能之	東京大学医学部附属病院 薬剤部
桑田 美代子	医療法人社団慶成会 青梅慶友病院 看護部
清水 恵一郎	一般社団法人 東京内科医会 副会長 (阿部医院 院長)
高瀬 義昌	一般社団法人 日本在宅医学会 (医療法人至高会 在宅療養支援診療所 たかせクリニック 理事長)
仲井 培雄	地域包括ケア病棟協会 会長 (芳珠記念病院 理事長)
永井 尚美	武蔵野大学薬学部 教授
浜田 将太	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部
水上 勝義	公益社団法人 日本精神神経学会
溝神 文博	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部

主査、 副主査 (五十音順、敬称略)